

第15回 日本仏教の展開(1)

- | | | |
|------|---|-------------|
| 1 A | 儒教や仏教に対する深い理解をしめすとともに、推古天皇を助けて統一国家の建設に尽力した飛鳥時代の政治家・思想家は誰か。 | 聖徳太子 |
| 2 A | 聖徳太子の作と伝えられている、法華経・勝鬘経・維摩経という大乘仏教の教典の注釈書を何というか。 | 『三経義疏』 |
| 3 A | 仏教思想を普遍的原理とし、儒教思想によって上下関係を律し、協調の必要性を説いて国家統一の原理をしめした日本最古の成文法を何というか。 | 十七条憲法 |
| 4 A | 十七条憲法の1条に記された古代日本の精神で、私心を排して共同体との協調をはかろうとする心のあり方を何というか。 | 和 |
| 5 A | 十七条憲法の10条に記された、仏陀の前では誰もが同じ平凡な存在であるという自覚を何というか。 | 凡夫の自覚 |
| 6 A | 仏教で尊重すべきとされた、真理を悟った仏陀、仏陀の説く真理、仏陀の教えにしたがって修行する僧侶という仏・法・僧のことをあわせて何というか。 | 三宝 |
| 7 A | この世は空しく仮の姿しかもたず、ただ仏のみが真実であるという聖徳太子の晩年の境地をしめすことばを何というか。 | 「世間虚仮・唯仏是真」 |
| 8 B | 聖武天皇の国分寺造営に代表されるような、儀式や呪術による国家安泰の祈願を特色とするこの時代の仏教を総称して何というか。 | 奈良仏教 |
| 9 A | 仏教の興隆によって、国家の安泰と国民生活の安定を祈願することを何というか。 | 鎮護国家 |
| 10 B | 奈良時代の三論・成実・法相・俱舍・華嚴・律の各宗派を総称して何というか。 | 南都六宗 |
| 11 B | 6度にわたる苦難のあと日本に渡り、唐招提寺を開いた唐の僧侶は誰か。 | 鑑真 |
| 12 C | 本来は徳の高い僧侶を意味したが、奈良時代末から平安初期にかけて、寺院に属さず民間で活躍した僧侶の呼称となったことばを何というか。 | 聖 |
| 13 B | 諸国を遊行して布教と慈善を行い、民衆から遊行聖といわれた奈良時代の僧侶は誰か。 | 行基 |
| 14 B | 奈良仏教の鎮護国家の特色を継承しつつ、山岳仏教と結びついて日本的仏教の基盤となった貴族的な国家仏教を総称して何というか。 | 平安仏教 |
| 15 A | 奈良・平安時代に人びとが神仏に祈った、無病息災や延命・蓄財などの現実的な恩恵のことを何というか。 | 現世利益 |
| 16 B | 仏の加護や現世利益を願って行われる呪術の一種を何というか。 | 加持祈祷 |
| 17 C | 山野をめぐって修行し、加持祈祷などの呪術によって靈験を得ようとする宗教の一派を何というか。 | 修験道 |
| 18 C | 山野をめぐって修験道の修行を行う修験者のことを何というか。 | 山伏 |
| 19 A | 東大寺で戒を受けたが南都六宗の学問に満足できず、唐に渡って諸宗を学び、帰国後新しい宗派を開いて、死後、伝教大師とよばれた僧侶は誰か。 | 最澄 |
| 20 A | 最澄が中国から日本に伝えた仏教の宗派を何というか。 | 天台宗 |
| 21 A | 最澄が学生のために教育方針と規則を記した書物を何というか。 | 『山家学生式』 |
| 22 C | 『山家学生式』において、仏道を求める人を最澄は何とよんだか。 | 国宝 |
| 23 A | 最澄が修行時代に草庵を結んだ跡に建てた、天台宗の総本山を何というか。 | 比叡山延暦寺 |
| 24 B | 人間はすべて仏性をもっており、修行すれば皆同じ一つの乗り物にのって仏となると説く、法華経の教えを何というか。 | 一乗思想(法華一乗) |

25 A	南都の六宗を学んで大日経に出会ったあと唐に渡り、密教をもち帰って新しい宗派を開いた人物で、死後、弘法大師とよばれた僧侶は誰か。	空海
26 A	空海が中国から帰国の後に開いた宗派を何というか。	真言宗
27 B	即身成仏の立場から説かれた、大日如来を中心として悟りにいたる空海の晩年の著書を何というか。	『十住心論』
28 A	儒教・仏教・道教のなかで仏教がもっとも優れていることをしめした、空海の出家の意図を語る著書を何というか。	『三教指帰』
29 A	嵯峨天皇から賜った山に空海が建立した、真言宗の総本山を何というか。	高野山金剛峰寺
30 A	仏陀という歴史的人物の教えに対して、宇宙の本体である仏から授けられた教えを何というか。	密教
31 A	宇宙の本体であり、如来や神々や菩薩を包摂した、密教の原理的な仏を何というか。	大日如来
32 A	この世は大日如来の分身である無数の仏からなっていることを、図式によってしめしたものを何というか。	曼陀羅
33 C	手に印契を結び、口に真言(マントラ)をととなえ、心に仏を思い描いて仏と一体化しようとする何を何というか。	三密
34 A	三密の行によって、この身のままで仏になる何を何というか。	即身成仏
35 A	奈良時代から明治時代までのあいだに行われた、日本古来の神信仰と仏教信仰との融合を何というか。	神仏習合
36 B	真理の本体である仏が、民衆教化のために神の姿をしてあらわれたとする平安時代の思想を何というか。	本地垂迹説
37 A	戦乱や天災のなかで、仏法の衰退とともに救済の可能性も減退していくという、平安中期以降にあらわれた思想を何というか。	末法思想
38 A	末法思想で、仏陀の説く教え(教)も、教えにしたがって行われる修行(行)も、そして修行の結果としての悟り(証)も存在する時代を何というか。	正法
39 A	末法思想で、悟り(証)はなく、ただ修行(行)と教え(教)のみが存在する時代を何というか。	像法
40 A	末法思想で、修行(行)も悟り(証)もなく、ただ仏の教え(教)のみが存在する時代を何というか。	末法
41 A	けがれたこの世から仏のいる清浄な世界への往生を願う、末法思想の広まりのなかで生まれた信仰を何というか。	浄土信仰
42 A	諸仏がいる清浄な仏国土を何というか。	浄土
43 A	西方はるか彼方にある、阿弥陀仏のおられる仏国土を何というか。	極楽
44 A	仏教において現世で悪業をなしたものが死後におもむくとされる場所を何というか。	地獄
45 A	この世から阿弥陀仏のおられる仏国土へ往き、そこで生を受ける何を何というか。	往生
46 B	阿弥陀仏を信じることによって、死後、極楽浄土に往生できると説く教えを何というか。	浄土教
47 A	修行中に一切衆生の救済を誓願し、西方浄土にいて救済を行っているといわれる仏を何というか。	阿弥陀仏
48 A	仏の名や姿や教えを心のなかに思い浮かべる何を何というか。	念仏
49 C	仏の姿や功德を心に思い浮かべる仏道修行のことを何というか。	観想念仏

- 50 B 仏の名をよび唱える仏道修行のことを何というか。 称名念仏(唱名念仏)
- 51 A 「ただひたすら阿弥陀仏に帰依する」ということを意味することばを何というか。 南無阿弥陀仏
- 52 B 諸国を遊行して念仏を説き、道路の整備や橋の修理などの社会事業を行って市聖とよばれた平安中期の僧侶は誰か。 空也
- 53 A 観想念仏によって阿弥陀仏のおられる浄土への往生を説くいっぽう、地獄の恐ろしさも説いて浄土信仰の普及に貢献した平安末期の僧侶は誰か。 源信
- 54 A 浄土への往生に関する諸説をまとめた源信の著書を何というか。 『往生要集』
- 55 B けがれたこの世を離れ、清浄な仏国土に往生することを願う源信のことばを何というか。 「厭離穢土・欣求浄土」